

# 病害虫防除技術情報第 10 号

令和 2 年 10 月 30 日

三重県病害虫防除所

**これから年内が耕起によるスクミリンゴガイ対策の好適期です。  
越冬量を減らし来春以降の被害軽減につなげましょう。**

1. 対象作物            水稻
2. 対象病害虫名       スクミリンゴガイ
3. 発生状況
  - (1) 病害虫防除所の 6 月の巡回調査圃場ではスクミリンゴガイの発生圃場率は 8.1% (過去 6 か年平均 4.4%) と多い状況が続いています。
  - (2) 移植直後には被害がなかったほ場でも、7 月には成貝や卵が確認された事例が多くあります。
  - (3) 東海地方の向こう 3 か月の予報では 12 月の気温は平年並みか低いとされ、年内の耕起による高い効果が期待されます。
4. 防除対策
  - (1) 耕起防除は年内に行なうことで高い効果が得られます。ロータリー耕うんにより貝を物理的に破壊するとともに、厳冬前に土壌表面に貝を掘り起こして寒さにさらし殺貝してください。
  - (2) 貝は深さ 6 cm 以内の土中で越冬するため、耕うんの深度は 10 cm を目標とします。
  - (3) 殺貝効果を高めるため、耕うんは①田面が硬いときに②ピッチを小さくし低速で土壌を細かく砕くようにすることがポイントです。
  - (4) 春以降の対策とセットで体系的に防除を行うことで一層効果を高めることができます。

農薬(薬剤)はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。